

三二授業研 3年1組 算数科指導略案

平成19年6月14日(木)4校時  
教諭 加藤 茂樹(場所:教室)

1 授業について(参観時間帯: 導入 展開 まとめ)

単元名	水のかさをはかろう 本時2/8
授業改善の主な視点	発問・指示 ノート指導 話し合い ICT活用
本時の目標	・普遍単位の必要性を理解し、かさを表す単位「デシリットル(d)」について理解する。
指導にあたって	水の形や入れ物が変わっても、かさは変わらないこと(かさの保存性)を導入の段階でしっかりとおさえて、比較測定ができるようにさせる。
ICTを活用する目的	課題の提示 動機づけ 指示の明確化 スキル定着 説明資料 繰り返しによる定着 モデルの提示 失敗例の提示 体験の代行 体験の想起(振り返り) 情報の共有 比較
活用するICT	コンピュータ プロジェクタ スクリーン 実物投影機 デジタルカメラ ビデオ インターネット デジタルコンテンツ CD-ROM スピーカー

2 授業の流れ

主 な 活 動	・留意点 準備物など 評価
<p><b>発問の型:</b> 学習意欲を高める発問 知識を広げる発問 思考を深める発問</p> <p>1 水のかさの違いを比べる方法を考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>発問:</b> イの方がアより、どれだけ多く入るかを調べるには、どうすればよいでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長さと同じように、数で表せるとよい。</li> <li>・カップを使って何杯入るかで調べる。</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>課題</b> どれだけ多く入るか調べよう。</p> </div> <p>2 任意単位を用いて、水のかさを表す。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>指示:</b> どれだけ多く入っているか調べましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループで調べる。</li> </ul> </div> <p>3 調べた結果について話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>発問:</b> 比べた結果は正しいと言えるでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・カップの大きさが違うので、正しくない。</li> <li>・同じ大きさのカップで調べないと分からない。</li> </ul> </div> <p>4 普遍単位の必要性に気づく。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>発問:</b> だれでも同じようにかさをはかることはできないでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いつでもどこでも同じ大きさのカップを使えばよい。</li> <li>・長さと同じようにかさにも単位があるはずだ。</li> </ul> </div> <p>5 かさを表す単位「デシリットル(d)」と、その読み方と書き方を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「デシリットル(d)」の読み方と書き方を練習する。</li> </ul> <p>6 適用問題をする。</p> <p>7 学習を振り返る。</p>	<p>・留意点 準備物など 評価</p> <p>前時に比べたペットボトルや容器</p> <p>【考】長さの学習経験を生かして、かさを比較する方法を考えることができる。(観察・発表)</p> <p>ペットボトル、プリンカップ等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・測定対象の容器と測定用の容器を数種類ずつ用意する。</li> <li>・グループごとに、容器を自由に選べるようにする。</li> <li>・はしが出た場合のあることにもふれ、「およそ」などの言葉を用いて表現させる。</li> </ul> <p>【知】かさを表す単位には「デシリットル(d)」を使い、「d」と書くことを理解する。 (プリント・発表)</p> <p>実物投影機</p> <p>フラッシュ型教材</p>